



人類に
奉仕する
ロータリー

パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 全員参加で、奉仕の理想を実現しよう!

パワー浜松ロータリークラブ (2016-17年度 会長: 近藤 雅彦 幹事: 田淵 邦彦)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

第644回例会 10月4日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 原田道子 森俊彦 山下俊彦
- 点鐘: 近藤 雅彦
- 議事: 出席部会「Japanese & American Value Systems」

〈出席報告〉

会員数 79名(内 出席免除会員1名)
出席数 61名 出席率 78.21%
前々回出席率 74.36%

■会長挨拶

近藤雅彦会長:

9月のビュー広場ですが、「好きな映画、思い出の映画は」というテーマにさせて頂きました。たくさんの投稿をありがとうございました。

このテーマにしたのは8月の夏休みに話題の「シン・ゴジラ」をみて面白いと思ったのがきっかけです。ご覧になった方も多いと思いますが、評判通り怪獣映画というより政治映画や災害対策映画だと感じました。

本日の卓話はジョーによる日本とアメリカの違いということがテーマですが、映画の前半では結論の出ない会議ばかりの場面で、意思決定の仕組みがいかに日本的で共感された方は多いのではないのでしょうか? 海外にも配給するそうですが、アメリカ人がこの映画をみたらどうのように評価するのか、大変興味深いです。

そんな大ヒットした「シン・ゴジラ」を上回るヒットをしている映画があるのをご存知でしょうか? 「君の名は」というアニメーションの映画ですが、この2作の大ヒットによって東宝の株価も上がったそうです。

まだ上映中だと思いますので、ネタバレはしませんが、シンゴジラにしても君の名はにしても、モチーフとなっているのは東日本大震災や福島原発事故だと思われます。ちょっと年齢層的に若い映画なので抵抗はあるかもしれませんが、よろしければ是非ご覧ください。以上です。どうぞよろしくお願いいたします。

■幹事報告

田淵邦彦幹事:

皆さんおはようございます。第644回例会幹事報告を致します。本日のレターボックスに配布しております資料は、ロータリーの友10月号、ガバナー月信10月号、新会員推薦書の3点です。不足がございましたらお申し出ください。以上、幹事報告を終了します。

■委員会報告

社会奉仕部会(堀内善弘会員):

認知症サポーター養成講座の案内です。11月12日(土)に「なゆた浜北」で開催されます。12時45分から16時30分です。例会扱いです。宜しくお願いします。

会員増強部会(安間利広会員):

来年1月の新年会で入会式を行う流れでいます。11月の理事会に向けて募集活動をお願いします。各自のレターボックスに推薦書を入れてあるので、ご協力をお願いします。



■スマイル

安間孝明会員：

ご後援頂きましたチャリティ絵画展が無事終える事ができました。563 人の方々の来場があり、募金も 186,000 円程集まりました。売上の 496 万円のうち 15%を津波伝承館のアニメ製作支援とさせて頂きま。9 月 29 日は支援金 20 万円を被災地障害者センターくまもとに届けることができました。ご来場、ご協力、本当にありがとうございました。

土屋公良会員：

ベトナム語を学び始めました。講座の先生はベトナム人のアンさんです。なんと、米山の奨学生でした。不思議な縁にスマイルです。

原田道子会員：

スペイン風のパティオのある家を購入しました。40 坪近くある素敵な物件なのでつつい手が出てしまいました。アトリエとして使おうと思っっていますが、忙しくてまだそのままになっています。趣味の家です。



近藤雅彦会長：

今度の週末土曜日と日曜日に開催される第 10 回やらまいかミュージックフェスティバルに、別々のバンドですが 2 人が出演します。ジョーは土曜日の 12 時 20 分から旧松菱前のステージ。近藤は日曜日 14 時 30 分から有楽街にある浜松フォースというライブハウスです。お時間がありましたら、是非ご来場ください。

山崎益男会員：

このたび、お蔭様で、2017 年度の MDRT 入会基準を達成する事ができました。ミリオンダラーラウンドテーブルといひまして、世界中の生命保険・金融サービス専門職

の中で、トップ 1%のメンバーで構成される最も権威ある会でもあります。これもひとえに、契約者様をはじめとする周囲の方々の応援や、励ましのおかげでありまして、ここに改めまして、御礼と御報告を申し上げます。今後とも宜しくお願いします。

匿名希望：

久しぶりに富士山が見えたのでスマイルです。

金山土洲会員、小林昭次会員、山下俊彦会員：

『10 月 19 日伊豆の国市狩野川を会場にセキスイハイム東海主催の鮎の友つり大会』

セキスイハイム東海 cup in 狩野川が開催されました。大会スローガンは「清流が好き、伝えよう美しい自然と伝統の技」。

大会委員長はセキスイハイム東海専務の小林昭次さん。スペシャルアドバイザーに日本を代表する鮎釣りプロトナーメンターの高橋祐次さんと伊豆の国市在住の鮎釣りプロトナーメンター井川弘次郎さんを迎え彼らの属するクラブスタッフの全面的協力のもと伊豆の国市、伊豆の国市観光協会、大仁旅館組合、大仁温泉共同組、大仁商工会、狩野川漁業協同組合など地元の後援を得て第一回大会を無事開催することができました。

大会へのエントリーは地元静岡県はもとより関東関西から 160 名が参加。友釣りで鮎の釣果を競いました。

会場は大仁地区で、金山土洲さんの書による鮎の文字の垂れ幕がたなびく城山（じょうやま）向かいの河川敷。台風と秋雨前線の影響でときおり強い雨が降るものの、充分さおを出せる状況で 3 時間の予選ののち 22 人が決勝進出。午後から 2 時間の決勝で、10 尾を釣り上げた伊藤信一さんが優勝となりました。

住宅メーカーの主催と数多くの釣具メーカーからの協賛、そして鮎釣りの人気に拍車をかけるという意味で大いに注目を集めた大会となりました。

私山下は大会運営をバックアップさせていただきましたが、最初は小さな人の繋がりから始まった大会の話が、こんな大きな大会となって実を結べたのは驚きでもあり大きな感動でした。大会に携わってくださった皆様に感謝です。

■ 議事

「Japanese & American Value Systems」

担当：出席部会

リビー・ジョセフ・マティ会員：

本日のテーマは「Japanese & American Value Systems」
日本とアメリカの価値観の違いについてです。

自分の自己紹介ですが、現在 50 歳で、日本に来たのが 26 年前だから、人生の半分以上は日本にいます。なので、今のアメリカの事情はよく判りません。

しかし、交換留学生の件などでアメリカ人と話をしていると、日本人の考え方とアメリカ人の考え方が違うことは判ります。

基本的な価値観として、アメリカの場合は「me first」の意識が強い。200 年前にヨーロッパからアメリカに移り住んだ際、初めは皆ヨーロッパの真似をしました。家も街づくりも全てヨーロッパスタイルだった。その後年月が経ち、政府から「自ら開拓すれば土地は無償で提供する」と言われたので、「一人で頑張る」という気持ちが強くなりました。

失敗をした人も大勢いましたが、成功した人々はとても強くなりました。結果として、「一人で頑張る、頑張ればできる」、という価値観が一層強くなりました。ただし、最近は少しその傾向は弱まってきています。例えば小学校では、昔は 1 位の人にのみ商品が与えられたりしましたが、最近は全員に参加賞が与えられるようになっていきます。

一方で、日本は「みんなでやる、時間は守る」。

日本の場合は主食が米であり、1 人で作ることはできません。自然のタイミングもあり、時間を守らなくてはならないことも関係あります。

日本とアメリカの主たる価値観の違いは、日本は「グループでやる」ということ。時間を守るためにも「グループでやる」し、班長を決めて責任を持たせると、きちんと監視もする。

逆にアメリカでは「一人で頑張る」。各自が頑張ることが、お互いのためになっているという考え方。

とはいえ、世の中には様々な人がいる。日本人でも

「一人でやりたがる」人はいる。パワー浜松の人たちは変な人が多いので、「一人でもやる」と思うし、お互いの協力や応援もすると思う。

また、日本人は目立ちたがらない。一方でアメリカ人は目立ちたがる。「自分は特別」という考え方をしている。次男に「自分は、他と同じは嫌だ」という話をしたところ、「何で？他と同じならいいじゃないか」と言われた。次男は日本生まれの日本育ちだったので、考え方が日本寄りだった。今はアメリカ寄りになっていますが。

アメリカの場合は 18 歳になると大人です。18 歳になると、家から出て行くか、家賃を払ってください、という話になる。自分の場合も小さい時からアルバイトをしていたし、20 歳までは家賃を支払っていた。アメリカ人の場合は 1 度家を出たら、基本的には実家に戻らない。親も子供の自立を求めている。

日本人の場合は、事情によって実家に戻ることがあるが、どこか心の中で「実家に帰りたい」と考えていると思う。自分の場合、子供たちに早く家を出て行ってほしい。一緒に居るのにも飽きた（笑）。

結局、どちらが良いも悪いも無く、いろいろな価値観があることが面白いことだと思います。

今の仕事では様々な外国人との接点があります。

本当に色々な価値観の人がいて、大変な一方で本当に勉強になります。Brand New Things Everyday。本当に毎日毎日新しい発見がある。

最後にアメリカの選挙の話ですが、自分は選挙に投票する予定です。アメリカと日本は選挙のシステムが異なりますが、アメリカの選挙の方が判り安いかもしれませんが、どちらが良いという話ではありませんが。以上、ありがとうございました。

